

イボットソン・ファンドスターズの概要

1. 基本的な考え方

投資家が同一分類内の他のファンドに対するパフォーマンスの大きさや、パフォーマンスの一貫性を評価することを容易にするために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンはファンドの相対評価を基本とした、イボットソン・ファンドスターズを提供しています。

イボットソン・ファンドスターズは、3年以上運用されているファンドで、かつ、同一分類にそのファンドを含めて3年以上運用されているファンドが10本以上存在する場合に、過去36カ月間の同一分類平均に対する月次相対パフォーマンスを用いて算出されています。

2. イボットソン・ファンドスターズが意味するもの

一般的に、より多くの星をもつファンドのほうが、その分類内のファンドをコンスタントにアウトパフォームする能力が高かったといえます。

3. 計算方法

1) 相対パフォーマンス

ファンドの相対パフォーマンスは、ファンドのパフォーマンスの数値から分類平均値を引くことで計算されます。

2) 相対パフォーマンスの平均

直近36カ月の相対パフォーマンスの平均を算出することで、平均的に見て同分類のファンドの運用実績より上回っているのか、下回っているのかを測定しています。

3) 相対パフォーマンスのボラティリティ

ボラティリティ（標準偏差）はどれだけ基準価額が変動するかを統計に基づいて算出した値です。

4) (相対パフォーマンスの平均) / (相対パフォーマンスのボラティリティ) 比率

この比率が高いほど、同一分類内のファンドの中では相対的に能力が高かったということになります。

4. ☆の数の配分

ある分類内に 100 本のファンドがあるとした場合、イボットソン・ファンドスターズは以下のように振り分けられます。

☆☆☆☆☆	上位 10%	10 ファンド
☆☆☆☆	次の 20%	20 ファンド
☆☆☆	次の 20%	20 ファンド
☆☆	次の 25%	25 ファンド
☆	次の 25%	25 ファンド

5. ファンド分類

イボットソン・ファンドスターズは、投資信託をイボットソン独自の分類に分け、同一分類内で相対評価を行っています。(分類の詳細につきましては別添資料をご覧ください。)

イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社

米国イボットソン・アソシエイツ社が 2000 年に設立した子会社であり、アセット・アロケーションに関連するコンサルティング等を日本の運用機関、投資商品の販売会社に対して行っています。

2006 年 3 月に米国イボットソン社が米国モーニングスター社に買収されたことにより、現在ではアセット・アロケーションに関するサービスだけでなく、米国モーニングスター社が展開しているサービスを日本で提供しています。

<http://www.ibbotson.co.jp/>

(注) ファンド評価は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。また、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。イボットソン・ファンドスターズはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作物です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は禁止されています。

イボットソン投資信託分類表（新旧対照表）

- イボットソン・ファンドスターズは、2009年6月までは旧分類で算出しております。
 ○ 2009年6月までは、※が付いている分類に属するファンドはイボットソン・ファンドスターズを算出しておりません。

イボットソン分類

旧分類（ご参考）

	日本語名	日本語名	
1	国内株式・大型割安型	国内株式・一般型（東証一部型）	
2	国内株式・大型ブレンド型	国内株式・一般型（市場分散型）	
3	国内株式・大型成長型	国内株式・一般型（好配当型）	
4	国内株式・中型割安型	国内株式・フレキシブル型	
5	国内株式・中型ブレンド型	国内株式・インデックス型（日経225型）	※
6	国内株式・中型成長型	国内株式・インデックス型（TOPIX型）	※
		国内株式・インデックス型（日経300型）	※
		国内株式・インデックス型（業種型その他）	※
7	国内株式・小型割安型	国内株式・中小型株型	
8	国内株式・小型ブレンド型		
9	国内株式・小型成長型		
10	国内株式・セクター型	国内株式・テーマ型（テクノロジー型） 国内株式・テーマ型（ヘルスケア/バイオ型）	
11	国内株式・SRI型	国内株式・テーマ型（社会的責任関連型）	
12	国内株式・地域/グループ型	国内株式・テーマ型(地域/グループ特化型)	
13	外国株式・世界型	外国株式・世界型 外国株式・世界型（好配当型） 外国株式・インデックス型(世界型) 外国株式・テーマ型(テクノロジー型) 外国株式・テーマ型(ヘルスケア/バイオ型) 外国株式・テーマ型(資源/素材型)	※
14	外国株式・世界型（除く日本）	外国株式・世界型(除く日本) 外国株式・世界型(除く日本)・好配当型	
15	外国株式・米国型	外国株式・米国型 外国株式・インデックス型(米国型)	※
16	外国株式・欧州型	外国株式・欧州型 外国株式・インデックス型(欧州型)	※
17	外国株式・中国圏型	外国株式・中国圏型	
18	外国株式・インド型	外国株式・インド型	
19	外国株式・アジアパシフィック型	外国株式・アジアパシフィック型 外国株式・アジアパシフィック型(単独市場型) 外国株式・インデックス型(アジアパシフィック型)	※
20	外国株式・アジアパシフィック型（除く日本）	外国株式・アジアパシフィック型(除く日本) 外国株式・アジアパシフィック型(除く日本)・好配当型	
21	外国株式・新興国型（単一国）	外国株式・エマージング型(世界型)	
22	外国株式・新興国型（複数国）	外国株式・エマージング型(欧州型)	
23	国内債券・中長期型	国内債券・公社債型 国内債券・インデックス型	※
24	国内債券・短期型		
25	国内債券・物価連動型	国内債券・公社債型(変動利付/物価連動型)	
26	国内債券・変動金利型		
27	国内債券・転換社債型	国内債券・転換社債型	
		国内債券・その他	

28	外国債券・世界型	外国債券・世界型 外国債券・インデックス型(世界型)	※
29	外国債券・世界型(除く日本)	外国債券・世界型(除く日本)	
30	外国債券・米国型	外国債券・米国型	
31	外国債券・欧州型	外国債券・欧州型	
32	外国債券・アジアパシフィック型	外国債券・豪州型	
33	外国債券・ハイイールド型	外国債券・ハイイールド型(世界型) 外国債券・ハイイールド型(米国型)	
34	外国債券・新興国型	外国債券・エマージング型(世界型)	
35	外国債券・物価連動型		
36	外国債券・変動金利型		
37	外国債券・転換社債型	外国債券・転換社債型(世界型)	
38	外国債券・短期型(複数国)	外国債券・短期債型(世界型)	
39	外国債券・短期型(単一国)	外国債券・短期債型(米国型)	
40	国内REIT	オルタナティブ・不動産投信型(国内型) オルタナティブ・不動産投信インデックス型(国内型)	※
41	外国REIT・世界型	オルタナティブ・不動産投信型(世界型) オルタナティブ・不動産投信インデックス型(世界型)	※
42	外国REIT・世界型(除く日本)		
43	外国REIT(単一国)	オルタナティブ・不動産投信型(米国型)	
44	コモディティ		
45	ヘッジファンド・ロングショート型	オルタナティブ・株式ロングショート型(国内型)	
46	ヘッジファンド・マーケットニュートラル型	オルタナティブ・株式マーケットニュートラル型(国内型) オルタナティブ・株式マーケットニュートラル型(世界型) オルタナティブ・株式マーケットニュートラル型(米国型)	
47	ヘッジファンド・マルチストラテジー型	オルタナティブ・マルチストラテジー型	
48	アセットアロケーション・安定型	アセットアロケーション・国内安定型 アセットアロケーション・世界安定型 アセットアロケーション・インデックス型(国内安定型) アセットアロケーション・インデックス型(世界安定型)	※ ※
49	アセットアロケーション・標準型	アセットアロケーション・国内標準型 アセットアロケーション・世界標準型 アセットアロケーション・インデックス型(国内標準型) アセットアロケーション・インデックス型(世界標準型) アセットアロケーション・欧州標準型	※ ※
50	アセットアロケーション・積極型	アセットアロケーション・国内積極型 アセットアロケーション・世界積極型 アセットアロケーション・インデックス型(国内積極型) アセットアロケーション・インデックス型(世界積極型)	※ ※
51	アセットアロケーション・TAA型	アセットアロケーション・国内フレキシブル型 アセットアロケーション・世界フレキシブル型	
52	アセットアロケーション・ターゲットイヤー型(2029年以前)	アセットアロケーション・ターゲットイヤー型	
53	アセットアロケーション・ターゲットイヤー型(2030年以降)		
54	デリバティブ・ブルベア型(株式型)	デリバティブ・国内株式ブル型 デリバティブ・国内株式ベア型 デリバティブ・米国株式ブル型 デリバティブ・米国株式ベア型 デリバティブ・欧州株式ブル型 デリバティブ・欧州株式ベア型 デリバティブ・香港株式ブル型 デリバティブ・香港株式ベア型	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
55	デリバティブ・ブルベア型(債券型)	デリバティブ・国内債券ブル型 デリバティブ・国内債券ベア型	※ ※
56	デリバティブ・ブルベア型(通貨型)	デリバティブ・円高ブル型 デリバティブ・円高ベア型	※ ※
57	国内短期金融資産	その他・マネーパブル型 その他・フロアー確保型 その他・特殊運用型	※ ※ ※

イボットソン 分類 - 定義

分類名	定義
1 国内株式・大型割安型	国内株式・大型割安型は、株式時価総額の規模が大きく、企業収益や株主資本に比べ株価が相対的に割安な日本企業の株式を主な投資対象とします。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-30%以上で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が-30%以下のファンドが国内株式・大型割安型として分類されます。
2 国内株式・大型ブレンド型	国内株式・大型ブレンド型は、株式時価総額の規模が大きい日本企業の株式を主な投資対象とします。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-30%以上で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が-30%~30%のファンドが国内株式・大型ブレンド型として分類されます。
3 国内株式・大型成長型	国内株式・大型成長型は、株式時価総額の規模が大きく、企業収益や株主資本の成長性が相対的に高い日本企業の株式を主な投資対象とします。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-30%以上で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が30%以上のファンドが国内株式・大型成長型として分類されます。
4 国内株式・中型割安型	国内株式・中型割安型は、企業収益や株主資本に比べ株価が相対的に割安な日本企業の株式を主な投資対象とします。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-90%~-30%で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が-30%以下のファンドが国内株式・中型割安型として分類されます。
5 国内株式・中型ブレンド型	国内株式・中型ブレンド型は、組入銘柄の平均的な株式時価総額が中規模で、割安株や成長株に偏重しないポートフォリオが特徴となります。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-90%~-30%で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が-30%~30%のファンドが国内株式・中型ブレンド型として分類されます。
6 国内株式・中型成長型	国内株式・中型成長型は、企業収益や株主資本の成長性が相対的に高い日本企業の株式を主な投資対象とします。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-90%~-30%で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が30%以上のファンドが国内株式・中型成長型として分類されます。
7 国内株式・小型割安型	国内株式・小型割安型は、株式時価総額の規模が小さく、企業収益や株主資本に比べ株価が相対的に割安な日本企業の株式を主な投資対象とします。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-90%以下で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が-30%以下のファンドが国内株式・小型割安型として分類されます。
8 国内株式・小型ブレンド型	国内株式・小型ブレンド型は、株式時価総額の規模が小さい日本企業の株式を主な投資対象とします。また、小型株の中で平均に近いバリュエーションや成長性の企業に投資します。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-90%以下で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が-30%~30%のファンドが国内株式・小型ブレンド型として分類されます。
9 国内株式・小型成長型	国内株式・小型成長型は、株式時価総額の規模が小さく、企業収益や株主資本の成長性が相対的に高い日本企業の株式を主な投資対象とします。一般的な国内株式ファンドの中でも、株式時価総額を市場平均対比で相対的に示したL/Sスコア(*)が-90%以下で、銘柄の成長性・割安性を市場平均対比で相対的に示したG/Vスコア(*)が30%以上のファンドが国内株式・小型成長型として分類されます。
10 国内株式・セクター型	国内株式・セクター型は、ある特定の産業や業種、セクター、テーマなどに関連した日本企業の株式を主な投資対象とします。特定の産業や業種に属する銘柄に集中投資されているため、市場全体の銘柄が投資対象となっている市場インデックス(TOPIXなど)と比較すると、価格変動性リスクの水準が高いことや、景気、為替、金利など、ある特定のマクロ経済の動向が、ファンドの価格変動に強く影響を及ぼす傾向があることに留意する必要があります。
11 国内株式・SRI型	国内株式・SRI型は、企業の創始理念や事業目的、業務内容などが「社会的責任投資」に関する基準に適合していると運用担当者などが判断した日本企業の株式を主な投資対象とします。企業の主な事業目的は経済的利益の追求ですが、自社の株主や顧客に対してだけでなく、広く社会に対して社会的責任を果たしている企業が投資対象となります。環境汚染を阻止するために、省エネを行っている企業が発行する株式は、投資対象の例として挙げられます。
12 国内株式・地域/グループ型	国内株式・地域/グループ型は、ある特定の地域に属する企業や、特定の企業グループに属する日本企業の株式を主な投資対象とします。特定の地域や業種、企業グループに属する銘柄に集中投資されているため、市場全体の銘柄が投資対象となっている市場インデックス(TOPIXなど)と比較すると、価格変動性リスクの水準が高いことや、景気、為替、金利など、ある特定のマクロ経済の動向が、ファンドの価格変動に非常に強く影響を及ぼす傾向があることに留意する必要があります。
13 外国株式・世界型	外国株式・世界型は、日本を含む世界の主要先進国の株式を主な投資対象とします。
14 外国株式・世界型(除く日本)	外国株式・世界型(除く日本)は、日本を除く世界の主要先進国の株式を主な投資対象とします。
15 外国株式・米国型	外国株式・米国型は、米国を中心にカナダを含む北米企業の株式を主な投資対象とします。
16 外国株式・欧州型	外国株式・欧州型は、欧州の主要先進国の株式を主な投資対象とします。
17 外国株式・中国圏型	外国株式・中国圏型は、中国本土を中心に、香港や台湾など中国圏企業の株式を主な投資対象とします。
18 外国株式・インド型	外国株式・インド型は、インド企業の株式を主な投資対象とします。
19 外国株式・アジアパシフィック型	外国株式・アジアパシフィック型は、日本を含むアジア/パシフィック地域の主要先進国の株式を主な投資対象とします。
20 外国株式・アジアパシフィック型(除く日本)	外国株式・アジアパシフィック型(除く日本)は、日本を除くアジア/パシフィック地域の主要先進国の株式を主な投資対象とします。
21 外国株式・新興国型(単一国)	外国株式・新興国型(単一国)は、新興国(中南米、東欧、アフリカ、中東、および一部のアジア地域)の単一国の株式を主な投資対象とします。
22 外国株式・新興国型(複数国)	外国株式・新興国型(複数国)は、新興国(中南米、東欧、アフリカ、中東、および一部のアジア地域)の複数国の株式を主な投資対象とします。
23 国内債券・中長期型	国内債券・中長期型は、日本の国債、社債、資産担保証券を主な投資対象とする。国内債券ファンドの中でも、構成銘柄の平均残存期間が3年以上となるファンドが国内債券・中長期型として分類されます。国内債券・短期型に比べ、金利変動リスクが高く、金利上昇局面で投資収益率がマイナスとなることがあります。
24 国内債券・短期型	国内債券・短期型は、日本の国債、社債、資産担保証券を主な投資対象とする。国内債券ファンドの中でも、構成銘柄の平均残存期間が3年未満となるファンドが国内債券・短期型として分類されます。
25 国内債券・物価連動型	国内債券・物価連動型は、日本の物価連動債券を主な投資対象とします。
26 国内債券・変動金利型	国内債券・変動金利型は、日本の変動利付債券を主な投資対象とします。
27 国内債券・転換社債型	国内債券・転換社債型は、日本の転換社債を主な投資対象とします。

28 外国債券・世界型	外国債券・世界型は、日本を含む世界の主要先進国の債券を主な投資対象とします。
29 外国債券・世界型（除く日本）	外国債券・世界型（除く日本）は、日本を除く世界の主要先進国の債券を主な投資対象とします。
30 外国債券・米国型	外国債券・米国型は、米ドル建てもしくはカナダドル建ての北米の国債、社債、モーゲージ証券、ABSを主な投資対象とします。
31 外国債券・欧州型	外国債券・欧州型は、欧州主要先進国通貨建てもしくはユーロ建ての欧州先進国の国債、社債、モーゲージ証券、ABSを主な投資対象とします。
32 外国債券・アジアパシフィック型	外国債券・アジアパシフィック型は、アジア・パシフィック地域の主要先進国の国債、社債を主な投資対象とします。
33 外国債券・ハイイールド型	外国債券・ハイイールド型は、日本を含む主要先進国の投資適格未滿の低格付け高利回り債券を主な投資対象とします。構成銘柄の平均最終利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが、投資適格債と比較して大きい点に留意する必要があります。
34 外国債券・新興国型	外国債券・新興国型は、新興国（中南米、東欧、アフリカ、中東、および一部のアジア地域）の債券を主な投資対象とします。
35 外国債券・物価連動型	外国債券・物価連動型は、主要先進国の物価連動債券を主な投資対象とします。
36 外国債券・変動金利型	外国債券・変動金利型は、主要先進国の変動利付債券を主な投資対象とします。
37 外国債券・転換社債型	外国債券・転換社債型は、主要先進国の転換社債を主な投資対象とします。
38 外国債券・短期型（複数国）	外国債券・短期型（複数国）は、主要先進国の複数国の短期債券、MMF、MRF、CP、短期金融資産を主な投資対象とします。金利変動リスクは低いものの、外国為替リスクが伴うことに留意する必要があります。
39 外国債券・短期型（単一国）	外国債券・短期型（単一国）は、主要先進国の単一国の短期債券、MMF、MRF、CP、短期金融資産を主な投資対象とします。金利変動リスクは低いものの、外国為替リスクが伴うことに留意する必要があります。
40 国内REIT	国内REITは、日本のREIT（不動産投資信託）を主な投資対象とします。
41 外国REIT・世界型	外国REIT・世界型は、日本を含む世界各国のREIT（不動産投資信託）を主な投資対象とします。
42 外国REIT・世界型（除く日本）	外国REIT・世界型（除く日本）は、日本を除く世界各国のREIT（不動産投資信託）を主な投資対象とします。
43 外国REIT（単一国）	外国REIT（単一国）は、外国の単一国のREIT（不動産投資信託）を主な投資対象とします。
44 コモディティ	コモディティは、農産物や、貴金属、石油などの商品先物を主な投資対象とします。
45 ヘッジファンド・ロングショート型	ヘッジファンド・ロングショート型は、ロングショート戦略をとるヘッジファンドです。当該戦略は、より高いリターンを得るために、一般的にロング戦略とショート戦略を組み合わせ、レバレッジを使用します。
46 ヘッジファンド・マーケットニュートラル型	ヘッジファンド・マーケットニュートラル型は、マーケットニュートラル戦略をとるヘッジファンドです。当該戦略は、一般的に市場のベータリスクはとりません。
47 ヘッジファンド・マルチストラテジー型	ヘッジファンド・マルチストラテジー型は、リスク分散のために複数の投資戦略を組み合わせさせたヘッジファンドです。当該戦略は、一般的に複数のヘッジファンドで構成されるファンド・オブ・ヘッジファンズの形態をとることが多いです。
48 アセットアロケーション・安定型	アセットアロケーション・安定型は、内外の株式、債券、REIT、短期金融資産など様々な資産クラスに分散投資を行う資産分散型ファンドで、安定的な投資元本の成長とインカムリターンの獲得を目指します。資産分散型ファンドの中でも、安定型は、標準型よりも債券の組入比率が高く、株式の組入比率が低い傾向にあります。安定型はイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのリスク・スコア（*）が40%未満と定義されます。
49 アセットアロケーション・標準型	アセットアロケーション・標準型は、内外の株式、債券、REIT、短期金融資産など様々な資産クラスに分散投資を行う資産分散型ファンドで、投資元本の成長とインカムの獲得を目指します。資産分散型ファンドの中でも、標準型は、安定型よりも債券の組入比率が低く、株式の組入比率が高い傾向にあります。標準型はイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのリスク・スコア（*）が40%以上70%以下と定義されます。
50 アセットアロケーション・積極型	アセットアロケーション・積極型は、内外の株式、債券、REIT、短期金融資産など様々な資産クラスに分散投資を行う資産分散型ファンドで、積極的に投資元本の成長とインカムの獲得を目指します。資産分散型ファンドの中でも、積極型は、標準型よりも債券の組入比率が低く、株式の組入比率が高い傾向にあります。積極型はイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのリスク・スコア（*）が70%超と定義されます。
51 アセットアロケーション・TAA型	アセットアロケーション・TAA型は、内外の株式、債券、REIT、短期金融資産など様々な資産クラスを投資対象とし、投資元本の成長とインカムの獲得を目指しますが、投資対象の市場動向を予測し、機動的に資産配分を変えることで、より高いリターンの獲得を目指します。
52 アセットアロケーション・ターゲットイヤー型（2029年以前）	アセットアロケーション・ターゲットイヤー型（2029年以前）は、将来の退職日や資金使用日など、将来の特定期日（この場合は2029年以前）をターゲットに運用している長期投資家のために、株式、債券、REIT、短期金融資産など様々な資産クラスに分散投資を行う資産分散型ファンドで、投資元本の成長とインカムリターンの獲得を目指します。事前に設定した将来の目標期日に合わせて、ポートフォリオの最適なリターンとリスクの水準を投資家に提供することを目指します。一般的には、時間が経過し、目標期日に近づくにつれて、保守的な資産配分に変更されます。
53 アセットアロケーション・ターゲットイヤー型（2030年以降）	アセットアロケーション・ターゲットイヤー型（2030年以降）は、将来の退職日や資金使用日など、将来の特定期日（この場合は2029年以前）をターゲットに運用している長期投資家のために、株式、債券、REIT、短期金融資産など様々な資産クラスに分散投資を行う資産分散型ファンドで、投資元本の成長とインカムリターンの獲得を目指します。事前に設定した将来の目標期日に合わせて、ポートフォリオの最適なリターンとリスクの水準を投資家に提供することを目指します。一般的には、時間が経過し、目標期日に近づくにつれて、保守的な資産配分に変更されます。
54 デリバティブ・ブルベア型（株式型）	デリバティブ・ブルベア型（株式型）は、株価指数先物や株式オプションを主な投資対象とします。株価指数の値動きに対してプラスに運動するブル型ファンドや、マイナスに運動するベア型ファンドなどがあります。
55 デリバティブ・ブルベア型（債券型）	デリバティブ・ブルベア型（債券型）は、債券先物や債券オプションを主な投資対象とします。債券指数の値動きに対してプラスに運動するブル型ファンドや、マイナスに運動するベア型ファンドなどがあります。
56 デリバティブ・ブルベア型（通貨型）	デリバティブ・ブルベア型（通貨型）は、通貨先物や通貨オプションを主な投資対象とします。対円為替レートの値動きに対してプラスに運動するブル型ファンドや、マイナスに運動するベア型ファンドなどがあります。
57 国内短期金融資産	国内短期金融資産は、オーバーナイト・コールや、コマース・ペーパーなど日本の短期金融市場を主な投資対象とします。

日本株スタイル分類の方法

一般的な国内株式ファンドの投資スタイルは、主としてウィリアム・シャープが提唱した「リターン・ベース・スタイル分析」という計量的分析手法を用いて分類されています。

分析対象ファンドが次の3つの条件を満たした場合、この計量的手法を用いてファンドのスタイル进行分类します。(1)過去18ヶ月以上のリターン・データがあること、(2)スタイル分析の決定係数(R²)が70%以上あること、(3)株式の推計組入比率が90%以上であること。

なお、これらの条件を満たしていないファンドは、目論見書や運用報告書などその他の資料に基づき定性分析によりスタイルを決定します。

各ファンドについて、「リターン・ベース・スタイル分析」によって4つの主要なスタイル（大型成長株LG, 大型割安株LV, 小型成長株SG, 小型割安株SV）へのエクスポージャーを推計します。(LG+LV)-(SG+SV)で算出するL/Sスコアは、ファンドの保有銘柄の平均的時価総額がどれだけ大きいかを示しています。同様に(LG+SG)-(LV+SV)で算出するG/Vスコアは、ファンドの成長株への相対的なエクスポージャーを示しています。

ところで、日本株運用のベンチマークとして最もよく利用される配当込みTOPIXも特有のスタイルを持っています。本来TOPIXは成長性対割安性の尺度では中立であるはずですが、そのスタイルは時によって成長株または割安株のいずれかにやや偏りをもって変動します。またTOPIXは時価総額加重の指数なので、このスタイル分析によればTOPIXは「大型株」に分類されます。

したがって、各ファンドのスタイルはTOPIXとの相対比較において計測すべきで、ベンチマークに対する相対的なL/SスコアとG/Vスコアは、ファンドの原スコアからTOPIXの原スコアを差し引いて以下のとおり計算されます。

$$L/S(\text{adj})=L/S(\text{fund})-L/S(\text{TOPIX})$$

$$G/V(\text{adj})=G/V(\text{fund})-G/V(\text{TOPIX})$$

例えばTOPIX型インデックス・ファンドの場合は、ベンチマーク対比相対スコアはゼロとなります。それぞれのスタイルへ分類するための閾値は、以下のようにベンチマーク対比相対スコアを用いて計算します。このようにして、一般的な国内株式ファンド（国内株式ファンドのセクター型、SRI型、地域/グループ型を除く）は3×3の9つのスタイル・ボックスに分類されます。

- 成長性-割安性の軸
 - 成長株 $G/V_{\text{adj}} \geq 30$
 - ブレンド $30 > G/V_{\text{adj}} > -30$
 - 割安株 $G/V_{\text{adj}} \leq -30$
- 大型-小型の軸
 - 大型 $L/S_{\text{adj}} \geq -30$
 - 中型 $-30 > L/S_{\text{adj}} > -90$
 - 小型 $L/S_{\text{adj}} \leq -90$

アセットアロケーション分類のリスクスコア(*) について

リスク・スコアは、資産構成比率に基づくファンドの想定リスク水準により推計されます。ファンドのリスク・スコアは各資産クラスのリスク・スコアを基本資産配分比率で加重平均することにより計算されます。

例えば、日本債券のリスク・スコアは0%、外国債券は50%、日本株式は100%、新興国株式は200%と定義されています。あるファンドの基本資産配分比率が日本株式30%、日本債券20%、外国債券50%の場合、このファンドのリスク・スコアは55% (=30%*100%+20%*0%+50%*50%)と推計されます。